積水化学グループのESG経営

積水化学グループでは、社会課題の解決貢献に取り組むことは、社会の持続性向上に直結しており、貢献の対価である売上高は、社会課題貢献の量であると考えています。そしてその貢献の質量を向上させることで当社グループの持続的な利益ある成長を図ることができ、またそのことで、お客様、株主、従業員、取引先、地域社会・地球環境といったすべてのステークホルダーへの貢献をさらに拡大していくことができます。

さらに注力! 社会の 持続性向上 経営の 利益ある 持続 ESGME 潜を中心においた。 「人びとりの機能 成長 積水化学グループの 持続的成長 持続経営力とは 拡大すればするほど 【効率性】 社会課題が解決 ■生産性や効率性を高め、経営資源を無駄なく活かすこと。 企業総治(一人ひとりの触束な行動、通切かつ果断な意思決定) 一加工 【長期持続性(経営基盤の盤石化)】 ■ 安全・コンプライアンス・品質の徹底により中長期のリス クを回避すること。 解決への ■ 持続的成長に向けて経営基盤へ投資し、各種の長期的な 資本コストを低減すること。 貢献 重要課題とKPI ▶P.57 5領域*重大インシデント コーポレート・ 内部統制 ガバナンス 当社グループの **BCP** 持続的な成長 環境 人材 ※安全、品質、経理、法務倫理、情報管理 **Innovation for the Earth** サステナブルな DX 融合 社会の実現 サステナビリティ貢献製品 レジデンシャル アドノバンストライフライン **イノベーティブモ**ビリティ ライフサイエンス

ESG経営概念図

"Innovation for the Earth"というステートメントを真ん中におき、際立ち、社会課題解決、未来につづく安心の提供で、サステナブルな社会の実現とグループの持続的成長につなげます。こうしたサイクルを、ステークホルダーとともに実践していくことが、われわれのESG経営の概念です。当社の価値創造プロセスは、この概念図をベースとし作成しています。

4つのドメイン(事業領域)を中心に、LIFEの基盤を支え、 "未来につづく安心"の創造を追い求めていきます。

"LIFF"

